

総務省

情報流通連携基盤の公共交通分野における実証

公共交通情報の公開・二次利用に 関する調査報告書

平成 25 年 3 月 29 日

株式会社横須賀テレコムリサーチパーク

代表者：坂村健

目次

第 1 章	概要.....	3
第 2 章	国土数値情報の公開・二次利用に関する調査	5
第 3 章	公共交通機関が保有する情報の公開・二次利用に関する調査	7
3.1	ロンドン市交通局の利用規約・ガイドライン調査.....	7
3.1.1	Syndication Developer Guidelines	8
3.1.2	Terms and Conditions	10
3.1.3	Transport Data Service の Terms and Conditions	10
3.2	公共交通データの公開・二次利用に関する規約	13
3.2.1	API 利用規約.....	13
3.2.2	アプリケーション構築ガイドライン	18
3.2.3	アプリケーション利用規約	20

第1章 概要

本書は、情報流通連携基盤の公共交通分野における実証を実施するにあたり、公共交通データの公開・二次利用に関する調査結果を報告する。

公共交通データには、国土数値情報と公共交通機関情報の 2 種類がある。国土数値情報は、国土計画の策定や実施の支援のために整備されたものであり、国土交通省から提供されている。代表的なものは、路線情報や駅・バス停に関する位置情報である。一方、公共交通機関情報は、公共交通機関が保有・管理する情報であり、代表的なものは、時刻表や運行情報である。

本書は、とくに公共交通機関情報に関して、その情報の利用に関する条件を調査し、利用規約案を作成した。

本実証で利用した公共交通データは、表 1 の通りである。以下、これらについての調査および利用規約の検討結果を報告する。

表 1: データ・ソース一覧

提供元	種別	ソース（空白はプロプライエタリ情報）
国土交通省国土政策局	鉄道駅・路線	http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N05.html
国土交通省国土政策局	バス路線	http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N07.html
国土交通省国土政策局	バス停	http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-P11.html
東日本旅客鉄道株式会社	山手線情報	
東日本旅客鉄道株式会社	鉄道運行情報（東京駅管内）	
東日本旅客鉄道株式会社	山手線列車時刻表	
東京都交通局	都営バス停	
東京都交通局	都営バス路線	
東京都交通局	都営バス停時刻表	
東京都交通局	都営バスロケーション情報	
東京都交通局	都営地下鉄運行情報	http://www.kotsu.metro.tokyo.jp/subway/schedule/
東京地下鉄株式会社	東京メトロ運行情報	http://www.tokyometro.jp/unkou/
東京地下鉄株式会社	東京メトロ丸ノ内線時刻表	http://www.tokyometro.jp/unkou/
YRP	東京駅地物情報	
YRP	東京駅構内センサー情報	

第2章 国土数値情報の公開・二次利用に関する調査

国土交通省が保有する公共交通データについては、下記ページに約款が掲載されている。

- 国土数値情報ダウンロードサービス利用約款

<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/yakkan.html>

この約款の第2条が利用上注意事項であり、第3条が利用条件である。以下にそれを引用する。第2条の(3)は、出展明記の義務を課している。また、第3条の(6)には、公開している情報の一部には、利用目的・方法に制約が課せられることが記されている。

第2条 利用上の注意

(1) 国土情報は、全て最新のデータが揃っているわけではありませんので、利用者はデータ整備年度・撮影年度等を十分確認の上ご利用ください。

(2) 国土情報は、国土計画関連業務のために作成されたものですので、公共測量等の高度な精度が要求される測量、各種証明等には使用することができません。また、利用者の利用目的に適合しているとは限りませんので、利用者は自らの責任でご自身の利用目的に適合しているかどうかをご判断ください。

(3) 国土情報およびそれを利用者が編集・加工して作成した成果物を他に転載、引用等する場合は、利用者は「国土数値情報（〇〇データ） 国土交通省」「国土画像情報（カラー空中写真） 国土交通省」のように出典を明記してください。また、国土数値情報の整備年、国土画像情報の撮影年・撮影場所、ファイル名、編集・加工した場合には編集・加工責任者等の情報についても、できる限り併記してください。

第3条 国土情報の利用

(1) 国土情報は無償で利用できます。ただし、国土情報を利用するための通信費等の費用は、利用者の負担となります。

(2) 国土情報を利用する際には、必ず始めに本利用約款を十分にお読みください。本利用約款に同意された方のみ国土情報を利用できます。

(3) 国土情報を利用した場合、国土交通省は、利用者が本利用約款に同意したものとみなします。

（４）国土情報について、法令、政令、その他全ての法令、条例等の法規に反する目的・手段・方法で利用することを一切禁じます。また、他人の権利を侵害する目的・手段・方法での利用、公序良俗に反する利用についても一切禁じます。

（５）国土情報の利用目的及び利用方法については、利用者の判断と責任に委ねられており、国土交通省は一切関与いたしません。

（６）一部の国土情報については、原典として利用したデータに係る著作権を保護する必要性等から、利用目的若しくは利用方法又はその両方に制約がある場合があります。詳細については個別データの説明に従ってください。

実際に、表 1 に列挙した公共交通データのうち、鉄道駅・路線に関する情報については、以下のような制約が課せられている。

なお、本データは「停車場変遷大辞典Ⅰ・Ⅱ[国鉄・JR]」((株)JTB パブリッシング)を原典の一つとして利用していますが、同社から営利・商用目的を除く利用に限って、一般提供の許諾を得ているものであり、これに背いた利用をした場合は罰せられる場合がありますのでご注意ください。

（「国土数値情報 鉄道時系列データ」より引用）

従って、本実証で利用した公共交通データのうち、鉄道駅・路線に関する情報については商用利用できない。

第3章 公共交通機関が保有する情報の公開・二次利用に関する調査

表 1 に列記した公共交通データのうち、公共交通機関が保有する時刻表情報や運行情報、位置情報については、すでに商用提供されているものや公共交通サービスの安全性に関わるものがあるため、二次利用が制限されている。

また、本実証に協力した公共交通機関にヒアリングを行ったところ、データを提供するにあたり以下の条件が必須であるとの回答を得た。

- データの完全性に関して提供元が責任を負わないこと。
- 無担保・無保証（No Warranty）であること。

本実証にてこれらのデータを二次利用するにあたり、利用規約・ガイドラインの検討を行った。まず、公共交通情報を先行して公開している、ロンドン市交通局の利用規約・ガイドラインを調査した。そのうえで、本実証で公共交通データを利用するための利用規約・ガイドラインを策定した。

3.1 ロンドン市交通局の利用規約・ガイドライン調査

ロンドン市交通局（Transport for London／以下 TfL と略す）は、開発者サイト¹にて以下の情報と API を公開している。

- ライブデータ
 - バス運行状況
 - 地下鉄運行状況
 - 道路混雑状況
 - 道路電光表示板の表示内容
 - 貸自転車のドッキングステーション状況
 - 交通状況カメラ画像
- 基本情報
 - 標準時刻表
 - EV 充電ポイント情報
 - 駅・栈橋・バス停の場所・KML フィード
 - 公共交通のアクセシビリティデータ
- 統計データ
 - 交通動態調査データ
 - ロンドン地下鉄の乗客数データ
 - 貸自転車の利用統計
- オリンピック関連（開催期間中）
 - オリンピック中の駅での待ち時間予測データ

¹ <http://www.tfl.gov.uk/businessandpartners/syndication/default.aspx>

- オリンピック中のイベント関係の交通変更データ

また、TfL は、提供しているデータや API を利用する上での、以下の 3 つの規約・ガイドラインを公開している。

- **Syndication Developer Guidelines:** 開発者向けガイドライン。
- **Terms and Conditions:** 開発者サイトの利用条件。
- **Transport data service の terms and conditions:** データ提供に関する規定。

以下にそれぞれの概要を記す。

3.1.1 Syndication Developer Guidelines

Syndication Developer Guidelines は、開発者向けガイドラインである。データの提供方法や更新周期などが規定されている。本文書の概要は以下の通りである。

- **Overview**

- 可用性があり、タイムリーな情報で、質が高く、使いやすいフォーマットで提供するという考えとコストとのバランスをとるため、次のようなことを提供する。
 - ✧ 可能な限り多くのデータセットをすぐに提供する
 - ✧ 質の高いデータの確保
 - ✧ データ鮮度の確保
 - ✧ ガイドライン、データの辞書、その他有用なドキュメント
 - ✧ 広く使われているオープンなデータフォーマットで提供
 - ✧ 望ましいデータフォーマットで提供

- **データフォーマット**

- TfL が提供するデータのフォーマットについて記載されている。具体的には下記のフォーマットが掲載されている。

✧ KML	Geo location
✧ In house XML	静的な情報
✧ RESTful API (JSON, XML)	動的な情報
✧ CSV	単純なテーブル

- **In House XML**

- 共通で利用される XML のフォーマットについて説明されている。

- **実装ルール**

- TfL より取得したデータを表示する際のルールを規定している。
- 表示
 - ✧ 表示の色に関して、TfL では tube の色、ステータスの色を

BgColor で指定された色を使うこと。

- ✧ タイトルは、DisplayTitle タグで指定されている内容を出すのを推奨する。
- ✧ PublishDateTime を必ずスクリーンに表示すること。
- ✧ Attribution tab は必ず表示しなければならない。

➤ 配布

- ✧ 本システムのデータを使ってサービスを提供する場合、クライアント全てに対して本システムのサービスにアクセスさせてはいけない。データは一時的に保持し、クライアントには保持したデータにアクセスさせるべきである。

➤ Timeliness

- ✧ Feeds はタイムリーに取得して表示しなければならない。Feeds にタイムリーに表示するために必要な、以降に示すタグが含まれている

- ✧ RefreshRate tag に指定されている時間間隔で更新しなければならない。もしくは、Schedule tag で指定されている更新スケジュールに合わせる必要がある。

- ✧ 次の仮コードで示されたように Max_latency を超えた場合は表示を切り替えなければならない。

```
If FeedDisplayDateTime > (FeedCapture DateTime + Max_Latency)
```

```
Then hide feed And display "This information is not currently available".
```

- ✧ TimeToError tag で指定されている時間を超過した場合、その情報を表示してはならない。

```
If Now > (PublishDateTime + TimeToError) Then hide feed.
```

```
If ErrorMessage exists
```

```
Then display ErrorMessage Else display "This information is not currently available".
```

- ✧ 書きのメッセージが存在した場合は、前のメッセージは表示してはならない。

➤ サポート

- ✧ 質問がある場合は、Web サイトにある FAQ を参照すること。もし該当する内容がなければ、コンタクトフォームを通じて質問をする。現状は、SLA (Service Level Agreement) はないため、回答に関してはできる限りで行うとする。

3.1.2 Terms and Conditions

開発者サイトの利用条件について記載された文書である。TfL はこの文書を通じて変更することができることになっている。本文書の概要は以下の通りである。

- 免責事項
 - このサイトは”as is”で提供され、どのような責任も保証も行わないという、一般的な免責事項が書かれている。
- リンク
 - このサイトは、TfL 外のコントロールされていないサイトにリンクされている箇所がある。リンクされたサイトのコンテンツに関してはどのようなものかの責任は取れない。
- 管轄裁判所
 - 所轄の裁判所が指定されている。
- コピーライト
 - データのコピーライトに関する条項が書かれている。
- プライバシポリシー
 - プライバシポリシーに関する条項が書かれている。

3.1.3 Transport Data Service の Terms and Conditions

TfL は、節に記した共通の Terms and Conditions に加えて、データ提供に関する規定を行っている。この文書では、事前に TfL より許諾されていること以外の次のような使用を禁止している。

- Transport data に対するデータの追加、更新
- トローリング、データマイニングなどを使ったコンテンツの抽出

以下に、この文書の概要を記す。

- 用語定義
 - "Service"は Transport data feed を TfL が提供することを意味する。
 - "Syndication Developer Guideline"は、データを利用するためのガイドラインである。
 - "Transport data" は、Service で提供される transport data である。
- Services
 - Syndication developer guideline にしたがって情報を提供する
- サービスの利用と保証
 - 本 Terms and conditions と Syndication developer guideline に従

う場合のみデータを利用可能である。TfL の信用を失墜させるような利用方法は許容されない。許諾されるデータの利用権は **Terms and conditions** の元で許諾されている。

- 利用者はサードパーティに対してデータフィードを利用させることはできない。
- 利用者はデータの分割、改変はできない。
- **Transport data** にはいかなる広告も含まれない。**Transport data** に広告が含まれているように見せなければ、利用者は広告をそばに掲示することは出来る。
- 利用者は、サービスを受信するためのすべてのコストに責任を持つ。
- 利用者は、登録するときに書いた目的通りの利用方法でのみ利用する。
- 利用者は、**Syndication developer guideline** に記載されているタイミングでデータの更新をする。
- TfL は承認されていない再配布を禁じる権利を有し、知的財産権は保護される。
- 利用者は、法律を順守する。
- 利用者は、TfL もしくは TfL のパートナーの名前でサービスの責任や保証することを書いてはいけない。
- **Transport data** にある内容の精度を保証するようにデータの再配布をすること。旅行情報は他のシステムのデータと組み合わせられるかもしれないが、**transport data** が修正されたり、分割されたりしなければ、情報の組み合わせがサードパーティの権利を侵害するものではない。
- TfL は **Transport data** の変更をする権利を有する。変更する場合は e-mail などでの通知をするよう務める。**E-mail** は利用者登録をするときに提出するものであり、変更があったときは変更をすること。

- 知的財産権

- TfL が保持するサービスやデータに対する権利がある。
- TfL は転送不可で排他的ではないロイヤリティフリーな次の権利を提供する。
 - ◇ **Transport data** に関する知的財産権の使用
 - ◇ TfL のトレードマークの使用

- 期間と終了

- この **terms and conditions** は、利用を許諾したときからサービスが提供される期間適用される。
- TfL は利用者から登録時に提供された情報に誤りがある場合、直ちに

利用を停止できる権利を持つ。

- Tfl はサービスや **transport data** の提供を変更、中断、停止をすることがある。
- この **terms and conditions** がいかなる理由で停止された場合であっても、**terms and conditions** に関わるいかなる権利も停止される。そして、**transport data** と知的財産権の利用を直ちに停止する。

- 免責事項と法的義務

- Tfl はサービスの機能の正確性を保つことに努力する。ただし、これは常に達成できるわけではないので次の免責事項を定める。
- サービスは "as is" で提供され、いかなる責任もなく保証も行わない。
- Tfl は次のように努力する。
 - ✧ **Transport data** は中傷的、卑猥な、違法なものを含まない。
 - ✧ **Transport data** はウイルスを含まない。
- **Service** を利用して情報を提示するのは、提示する側のリスクで行うこと。提示したことによるダメージに対して責任を持つこと。
- **Service** を利用したことによるデータの損失等のいかなるダメージに対しても Tfl は法的義務を負わない

- 賠償金請求

- Tfl に対して次のことを補償することを義務付ける。
 - ✧ この **terms and conditions** の不履行によりあなた、あなたの従業員、パートナーによって引き起こされた個人の怪我や死。
 - ✧ **terms and conditions** のオペレーションによって Tfl の物品が損傷した場合。

- 利用者は Tfl の怠慢による損失に対する責任や補償は負わない。

- Tfl は法的義務があり、次に示すことに違反しないことを保証する。
 - ✧ **Transport data** は中傷的、卑猥な、違法なものを含まない。
 - ✧ **Transport data** はウイルスを含まない。
- 上記の事に違反した場合、
 - ✧ ただちにクレームを付ける。
 - ✧ クレームの対象となる側のコストでクレームに対応する。
 - ✧ 義務のないクレームに対しては調停しない。
 - ✧ もう一方の側はクレームの調停に関して制御と権限がある。
 - ✧ このような保障がなるべく小さくなるように努力する。

- サポート

- 質問がある場合は、Web サイトにある **FAQ** を参照すること。もし該当する内容がなければ、コンタクトフォームを通じて質問をする。

現状は、SLA (Service Level Agreement) はないため、回答に関してはできる限りで行うとする。

3.2 公共交通データの公開・二次利用に関する規約

3.1 節に記した TfL のほか、現在公開されている公共交通情報や位置情報を利用したサービスの利用規約・ガイドラインを調査・分析して、API 利用規約・アプリケーション開発者向けガイドライン・アプリケーション利用規約の 3 つを作成した。この検討に際して、以下の点に留意した。

- 本実証では複数の公共交通事業者が関与することと、データの提供元と提供サービスの運営者が異なる。このため、開発者に負わせる責任や、API 提供側の責任部分を明記することに注力した。
- このガイドラインや利用規約を、本実証に限らず公共交通のデータの公開サービスの利用に適用できるようにすることに注力した。

策定した利用規約、ガイドライン案については、交通事業者への確認に加えて弁護士にも確認を行った。

3.2.1 API 利用規約

検討の結果策定した API 利用規約は、以下の通りである。

公共交通データ API 利用許諾規約

2013 年 2 月 1 日制定、即日施行

株式会社横須賀テレコムリサーチパーク
YRP ユビキタス・ネットワークング研究所

公共交通データを用いた web システムを開発する者(以下、「開発者」といいます。)は、株式会社横須賀テレコムリサーチパーク YRP ユビキタス・ネットワークング研究所(以下、「UNL」といいます。)が提供する、第 1 条で定める「本公共交通データ API」をご利用いただく前に、本利用許諾契約を必ずお読みください。

本公共交通データ API をご利用いただくには、本利用許諾契約および本公共交通データ API 開発者用ガイドライン(以下、「ガイドライン」といいます。)の内容に従うことに同意していただく必要があります。同意いただけない場合は、本公共交通データ API をご利用いただくことはできません。

また、本公共交通データ API をご利用いただくにあたり、どのような web システムを開発するのかを事前に UNL へ申告していただきます。その申告内

容を UNL が承認することにより、本公共交通データ API をご利用いただくことができます。

第 1 条(定義)

1.1 「公共交通データ」とは、電車やバスの運行情報、在線位置、時刻表、路線情報、駅情報等の公共交通に関連するデータをいいます。

1.2 「本公共交通データ API」とは、開発者が開発する web システムに対して、UNL が公共交通データを提供するための API をいいます。

1.3 「本公共交通データ」とは、本公共交通データ API に用いられる公共交通データであって、UNL が開発者に提供するものをいいます。

1.4 「本公共交通データ提供者」とは、本公共交通データを制作し、UNL に提供した者をいいます。

1.5 「本 web システム」とは、開発者が本公共交通データ API を組み込み開発する web システムで、UNL が事前に承認したものをいいます。

1.6 「ガイドライン」とは、開発者が本公共交通データ API を組み込んだ web システムを開発する際の指針を示すために、UNL が用意したドキュメントをいいます。

第 2 条(本公共交通データ API および本公共交通データの利用)

2.1 開発者は、本利用許諾契約を同意することにより、譲渡不可かつ非独占的に、次項以下に定める内容に従って、本公共交通データ API および本公共交通データを利用して本 web システムを一般に公開することができます。

2.2 開発者は、本公共交通データ API および本公共交通データを用いる際に次の各号に従うものとします。

(1)本公共交通データ API にアクセスする際には、毎回必ず、本利用許諾契約とガイドラインに従って利用すること。

(2)本公共交通データを本利用許諾契約とガイドラインに従って利用すること。

(3)本公共交通データを、UNL 及び本公共交通データ提供者に不利益が生じたり、不評をもたらすような方法で利用しないこと。

(4)本公共交通データを分解または修正しないこと。

(5)本公共交通データの中に広告を含めないこと。

(6)本 web システムにおいて広告を表示する際に、ガイドラインの指針に従うこと。

(7)本 web システムの開発に付随して、UNL から有償で提供されるデータを利用する場合、当該データの利用料金を定められた期日までに UNL に支払

うこと。

(8) 本公共交通データの全部または一部を本 web システム以外では表示しないこと。

(9) 本公共交通データの全部または一部が更新された場合は、ガイドラインに記載された指針にしたがって、本 web システムの本公共交通データを直ちに更新すること。

(10) 本公共交通データ API および本公共交通データを用いる際に、UNL 及び本公共交通データ提供者の知的財産権を侵害しないこと。

(11) 本 web システムの運用に適用されるすべての法律、条例、政令等を遵守すること。

(12) 「UNL および/または本公共交通データ提供者が、本 web システムに対して何らかの保証、責任を負担する」を意味するいかなる表示をしないこと。

2.3 開発者は、本 web システムで表示される本公共交通データの内容が、UNL から提供される本公共交通データの内容を正確に反映していることを保証するものとします。

2.4 開発者は、次のことを全て遵守することを条件に、本公共交通データを他のシステムからのデータと組み合わせることができます。

①. 第三者の知的財産権を侵害しないこと

②. 本公共交通データを変更または分割しないこと

2.5 UNL は本公共交通データ API および本公共交通データのフォーマットを、いつでも変更できるものとします。ただし、これらのフォーマットを変更する場合には、開発者が登録時に申告した Email アドレスへ、事前に通知するように努力します。

2.6 開発者は、本利用許諾契約で明示的に認められている権利を除いて、本公共交通データ API および本公共交通データについての、いかなる発明等および知的財産権の利用および行使に関する権利を、UNL および/または本データ提供者から受けるものではありません。

2.7 開発者は、ガイドラインの指針に従って、本公共交通データ API および本公共交通データの商標を利用することができます。

第 3 条(著作権)

3.1 本公共交通データ API の著作権は UNL が保有し、本公共交通データの著作権は本公共交通データ提供者が保有します。

第 4 条(知的財産権)

4.1 本 web システムを開発することにより新たに得られた発明、考案、意匠、ノウハウ等の技術的成果(以下、「発明等」という。)に関し、特許、実用新案、意匠等の産業財産権を受ける権利および当該権利に基づき取得された知的財産権(以下、「知的財産権」といいます。)の帰属は、次の各号に定めるとおりとします。

(1) UNL または開発者が単独で行った発明等およびこれに係る知的財産権については、当該発明等を行った当事者に単独で帰属します。

(2) UNL および開発者が共同で行った発明等およびこれに係る知的財産権については、UNL および開発者の共有とします。

4.2 前項に基づき UNL および開発者の共有となる発明等およびこれに係る知的財産権については、別途協議の上実施の詳細を定めるものとします。

第 5 条(期間および終了)

5.1 本利用許諾契約は、開発者が本利用許諾契約を同意し申込みの通知を UNL に行い、UNL が承諾の通知を開発者に行ったときから適用されるものとします。

5.2 本利用許諾契約は、UNL が開発者に本利用許諾契約の解除または終了の通知を行ったときに終了するものとします。

5.3 UNL は、開発者が本 web システムに登録した本公共交通データの情報が不正確であると判断した場合には、本利用許諾契約をただちに終了させることができるものとします。

5.4 UNL は、いつでも理由のいかんを問わず、開発者に対して本公共交通データ API および本公共交通データの情報提供を変更、停止、または中止し、本利用許諾契約を終了させることができるものとします。

5.5 開発者は、本利用許諾契約の終了に伴い、本 web システムでの本公共交通データ API および本公共交通データの利用をただちに終了するものとします。

第 6 条(免責および責任)

6.1 UNL は、本公共交通データ API および本公共交通データの情報の正確さを保つように努力します。ただし、これらは常に正確に提供できるとは限らないため、以下の各号に定めるとおり UNL は免責されるものとします。

(1) 開発者は、本公共交通データ API および本公共交通データが現状有姿で提供されることを承諾します。

(2) 開発者は、本公共交通データ API および本公共交通データの利用または利用不能により生じる直接的、偶発的、結果的、間接的、あるいは懲罰

的損害について、UNL が一切の責任を負わないことを承諾します。たとえ UNL がそのような損害が発生する可能性について知らされていた場合も同様とします。

(3) 開発者は、本項第 1 号および第 2 号に限定されることなく、本公共交通データ API および本公共交通データについて、商品性、特定用途への適合性、非侵害性に関する黙示的保証を含め、明示的か暗示的かを問わず、UNL が一切の保証をしないことを承諾します。

6.2 UNL は、本公共交通データが以下の各号を満たすように努力します。

(1) 本公共交通データに含まれるデータに、他人を中傷する内容が含まれないこと、卑猥な内容が含まれないこと、または、違法なものが含まれないこと。

(2) 本公共交通データに含まれるデータに、コンピュータウィルスが含まれないこと。

第 7 条(禁止)

7.1 開発者は、UNL の事前の書面による承諾がある場合を除き、次の各号に掲げる行為が禁止されています。

(1) 本公共交通データ API を用いて得られたデータ(本公共交通データを含む)を、他のソフトウェア、データベース、アプリケーション、GPS システムをはじめ、これらに限らない何等かのシステムに取り込み、または更新すること。

(2) 本 web システムの開発にあたって、コンテンツおよび/またはデータを抽出するために、トローリング、データマイニング、スクリーンスクレイピングをはじめ、これらに限らない何等かの自動化システムのソフトウェアやプロセスを使用すること。

(3) 本公共交通データ API を用いて得られたデータ(本公共交通データを含む)を、第三者が利用可能な状態で公開、複製、再配布、公衆送信すること。

第 8 条(変更)

8.1 UNL は、いつでも予告なしに、本利用許諾契約および/またはガイドラインを変更することができます。本利用許諾契約および/またはガイドラインが変更され UNL が開発者に変更の通知をした後に、開発者が本公共交通データ API を利用した場合は、変更後の当該本利用許諾契約および/または当該ガイドラインに同意したものとします。

第 9 条(賠償)

9.1 開発者は、第6条第1項で免責とされた UNL の行為に対して、UNL に一切の損害賠償の請求を行わないことを承諾します。

第10条(分離可能性)

10.1 本利用許諾契約の一部が無効又は実施不能と判断された場合であっても、本利用許諾契約を継続することが可能な場合には、本利用許諾契約の残りの部分は、継続して完全に効力を有するものとします。

第11条(プライバシー)

11.1 開発者は、個人情報保護に関する法律を遵守するものとします。

11.2 開発者は、前項を達成するために適切なプライバシーポリシーを定め、個人情報保護が濫用、漏洩、毀損されることがないように適切に運用するものとします。

第12条(準拠法と言語)

12.1 本利用許諾契約の成立、有効性及び履行は全面的に日本法により支配され、解釈されます。

12.2 本利用許諾契約は日本語で作成されます。ただし、その他の言語での参考訳の作成は妨げませんが、本利用許諾契約の解釈では日本語が優先します。

第13条(裁判管轄)

13.1 本利用許諾契約に関して訴訟の必要が生じた場合には、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

3.2.2 アプリケーション構築ガイドライン

検討の結果策定したアプリケーション構築ガイドラインは、以下の通りである。

公共交通データ開発者用ガイドライン (YRPUNL / 2013/02/12)

1. 概要

このドキュメントは、総務省情報流通連携基盤プロジェクトにおけるオープンデータを利活用する際のガイドラインです。本システムでは、公共交通データを可用性があり、タイムリーな情報で、質が高く、使いやすいフォーマットで提供するという考え方と実際のコストとのバランスをとるため、次の項目を想定します。

- 可能な限り多くのデータセットをすぐに提供する
- 質の高いデータの確保
- データ鮮度の確保
- ガイドライン、データの辞書、その他有用なドキュメント
- 広く使われているオープンなデータフォーマットで提供
- 望ましいデータフォーマットで提供

2. データフォーマット

次のデータフォーマットでの提供を行います。

フォーマット	内容	説明
Geo JSON, KML, Well known text	空間情報	アプリケーションで利用される形式をサポートする。
RESTful API (RDF/JSON, RDF/XML)	事物の詳細情報	事物のデータは基本的には REST スタイルで提供される。データのセマンティックスは RDF をベースとした表現で規定される。
JSON	一部データ	RDF で規定すると冗長になるデータに関して、単純な構造データとして提供する。

3. 実装ルール

本システムで規定するルールを以降で示します。本規定には必ず従ってください。

3.1. 表示

鉄道やバスなどを表現する場合に、他の路線との混同を避けるために、割り当てられている色を用いて表現するようにしてください。色に関しては別紙に指定します。

リアルタイム情報に関してはデータに含まれている、`dc:time` を必ず画面に表示してください。

3.2. 配布

本システムのデータを使ってサービスを提供する場合、エンドユーザ全てに対して本システムのサービスにアクセスさせてはいけません。データは一時的にサーバ上に保持し、エンドユーザには保持したデータにアクセスさせるよう

にしてください。

3.3. Timeliness

リアルタイムなデータはタイムリーに取得して表示しなければなりません。データにはタイムリーに表示するために必要な、以降に示すタグが含まれています。

`puti:frequency` に指定されている時間間隔で更新しなければなりません。時間間隔は秒単位で指定されます。

次の仮コードで示されたように `dterms:valid` を超えた場合は表示を切り替えなければなりません。

If `FeedDisplayDateTime > (FeedCapture DateTime + dterms:valid)`

Then hide feed and display "現在この情報は利用できません。(This information is not currently available)."

上書きのメッセージが存在した場合は、前のメッセージは表示してはいけません。

4. サポート

質問がある場合は、Developer center にある FAQ を参照してください。もし該当する内容がなければ、フォーラムでの投稿もしくは e-mail (`opendata-dev@ubun.jp`) を通じて質問をしてください。回答に関しては可能な限りで行うこととします。

5. 利用規約

別紙に定める利用規約に従うこととします。

3.2.3 アプリケーション利用規約

検討の結果策定したアプリケーション利用規約は、以下の通りである。これは、パイロットアプリケーションである「ココシル東京駅」の利用規約を例示する。

利用規約

ココシル東京駅利用規約

第1条 規定範囲

ココシル東京駅利用規約（以下「本規約」といいます）は、株式会社横須賀テレコムリサーチパーク YRP ユビキタス・ネットワーキング研究所（以下「当社」といいます）が提供する電車やバスの運行情報、在線位置、時刻表、路線情報、駅情報等の公共交通に関連するデータ（以下「公共交通データ」と、また公共交通データを当社へ提供する公共交通事業者を以下「交通事業者」といいます）や、場所の地図や口コミなどの情報をまとめて見ることができるポータルサイト「ココシル東京駅」（以下「本サービス」といいます）、および、本サービスを利用する利用者（以下「利用者」といいます）から本サービスを通じて提供される口コミ等の情報（以下「本コンテンツ」といいます）に関する著作権ならびに利用条件を定めるものです。

本サービスを利用した場合、利用者は本規約に同意したものとみなされます。また、ユーザ登録時または携帯端末への本サービス登録時に利用規約の「同意する」にチェックを入れた場合、利用者は本規約に同意したことになりますので、本規約をよくお読みください。

第2条 利用許諾

当社は利用者に対し、本サービスを利用するための非独占的権利を無償で許諾します。

利用者が本サービスを利用するためのプロバイダ接続料金や通信費等は利用者の負担とします。

本規約によって、本条で許諾される以外のいかなる産業財産権（特許権、実用新案権、意匠権、商標権およびこれらを受ける権利やノウハウ等で、これらを総称して以下「産業財産権等」といいます）も、明示、黙示を問わず利用者に譲渡または許諾されるものではありません。

第3条 本サービスの著作権および商標

本サービスで提供するすべてのソフトウェア、ドキュメント、画像、公共交通データおよびその複製物の著作権は、当社またはその供給者が有します。

当社は、本サービスの名称である「ココシル東京駅」について、「ココシル」の登録商標を有するユーシーテクノロジー株式会社から利用許諾を得ていることを保証します。

第4条 本コンテンツの著作権

利用者が本サービスへ本コンテンツを投稿した時点で、当該本コンテンツをweb サイト、CD や DVD などの電子媒体、雑誌や書籍などの紙媒体などを使って、全世界において複製、公衆送信、頒布、翻訳、翻案、出版する著作権上の権利(当社から第三者に対してこれらの権利を再使用許諾する権利を含みます)を、利用者は当社に対して無償で許諾するものとします。ただし、当該本コンテンツを許諾する期間は、当該本コンテンツの著作権の存続期間が終了するまでとします。

利用者は本サービスへ本コンテンツを投稿するにあたり、当該本コンテンツを複製、公衆送信、頒布、翻訳、翻案、出版する著作権上の権利をすべて有していることを当社に保証するものとします。もし利用者がこれらの権利の一部または全部を有していない場合は、あらかじめ、利用者自身の責任と費用負担で、当社および/または当社から再使用許諾を受けた第三者が利用するのに問題がないようにすることに同意します。

利用者は、本条において当社および/または当社から再使用許諾を受けた第三者が、次の各号によって本コンテンツを改変することを許諾するものとします。

(1) 本コンテンツが文字による場合、その一部または全部を要約したり、抜粋したりすること。

(2) 本コンテンツが画像や動画による場合、その一部または全部をサイズ変更、トリミングその他の方法で編集すること。

(3) 本コンテンツが音(音声や音楽等を含みます)による場合、その一部または全部を音量変更、キー変更その他の方法で編集すること。

利用者は、当社および/または当社から再使用許諾を受けた第三者に対し、前項に定める改変以外の本コンテンツの著作者人格権を行使しないことに同意します。

第5条 禁止事項

利用者は、事前に書面による当社の許諾なく、次のことをしてはならないものとします。

(1) 本サービスで提供する、ドキュメント、画像、公共交通データ等のコンテンツの全部または一部を、方法を問わず、転載、譲渡、販売、頒布、改変すること。

(2) 本サービスに使用するソフトウェア(公共交通データをwebで利用するためのAPIを含む)の全部または一部を、方法を問わず、転載、譲渡、販売、頒布、公の場所でダウンロード可能な状態におくこと、改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること。

(3) 本サービスを賃貸またはリースすること。

利用者は、次の内容を含む本コンテンツを提供してはならないものとします。

(1) 当社、本サービスの提携サイトを運営する第三者および/またはその他の第三者の産業財産権等や著作権、利益等を損ねる内容。

(2) 他人を中傷し、他人の名誉等を毀損し、またはプライバシーを侵害する内容。

(3) 公序良俗に反する内容。

(4) 違法行為、犯罪行為、危険行為に結びつく内容、および/またはこれらを助長する内容。

利用者は、本サービスおよび公共交通データに関する利用方法の相談、不具合の報告、改善の提案、感想や意見の表明等を、連絡方法や手段を問わず、交通事業者に対して直接行ってはならないものとします。

第6条 無保証・免責

当社および交通事業者は、本サービスに関し、明示または黙示であることを問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合すること、本サービスの利用が第三者の権利を侵害しないこと、本サービスの利用が中断されないこと、その他いかなる保証もしません。

当社および交通事業者は、本サービスの利用または利用不能に起因または関連して生じるいかなる損害(逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他金銭的損害を含むがこれに限らないものとします)に関して、一切責任を負わないものとします。たとえ当社および交通事業者がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

当社および交通事業者は、本コンテンツの内容、および、本コンテンツに起因する利用者の不法行為について一切責任を負わないものとします。

第7条 利用者の責任

利用者は、自己の責任において本サービスを利用するものとします。

第8条 削除権限

当社は、次に掲げる場合には、本コンテンツの違法性・本規約違反の有無にかかわらず、当該本コンテンツの全部、一部、またはこれに関連する情報について、その全部もしくは一部の削除などの措置を行うことができるものとしま

す。

(1) 公的な機関または専門家から、本コンテンツについて、違法、公序良俗違反、他人の権利の侵害などの指摘・意見表明があった場合。

(2) 本コンテンツについて、第三者からの権利主張があった場合。

(3) 本コンテンツが第三者の著作権を侵害すると当社が判断した場合。

(4) その他本コンテンツが本規約第 5 条第 2 項に該当する場合。

第 9 条 終了および変更

当社は、本サービスおよび／または本規約を予告なく終了することができるものとします。

当社は、利用者が本規約に定める条件に違反した場合、予告なく当該利用者の本サービスの利用を終了させることができるものとします。

当社は、利用者の事前の同意を得ることなく、本規約の一部または全部を随時変更することができるものとします。

利用者が、前項によって本規約が改定された後に本サービスを利用した場合、本規約をすべて承諾したものとします。

第 10 条 個人情報の取り扱い

利用者は、本サービスの利用にあたり、自らの電子メールアドレスを本サービスに開示、登録することを許諾するものとします。

当社は、利用者が本サービスに開示、登録した電子メールアドレスを、システム利用パスワードの送付、本サービスおよび本規約の変更に関する連絡の目的にのみ使用します。

前 2 項に定めのない本サービスにおける個人情報の取り扱いは、当社が別途定めるプライバシーポリシーによるものとします。

第 11 条 雑則

本規約は、いかなる種類のサポート（不具合の訂正、電話または FAX または電子メールによるサポートおよび技術サービス等）またはアップグレードの提供義務を当社に負わせるものではありません。

本規約の成立、有効性および履行は全面的に日本法により支配され、解釈されるものとします。

本規約は日本語で作成されます。但し、その他の言語での参考訳の作成は妨げませんが、本規約の解釈では日本語が優先するものとします。

本規約または本サービスに関するすべての紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

2013 年 2 月 1 日制定、即日施行